

第8期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画素案に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1. 意見の募集期間 令和2年10月1日（木）～令和2年10月30日（金）

2. 意見の提出者数（件数）23人（119件）

3. 意見の対応状況

（単位：件）

項目 処理区分	1. 第1編 計画策定の趣旨 等について	2. 第2編 本市高齢者を取 り巻く現状につ いて	3. 第3章 日常生活圏域に ついて	4. 第4章 施策の体系につ いて	5. 第5章 施策の展開につ いて	6. 第6章 サービスの見込 量及び目標量に ついて	7. 計画全般につい て	8. その他	計
A. 意見の趣旨等を反映し、 計画に盛り込むもの	1	1	1	1	2	1			7
B. 意見の趣旨等は、計画 (案)に盛り込み済みのもの	8	7	10	12	16	6	14	6	79
C. 計画には盛り込まないもの					1				1
D. 具体的な事業の実施にあ たり参考とするもの		4			5	2		2	13
E. その他要望・意見等	2	3	1	2	2	3	2	4	19
計	11	15	12	15	26	12	16	12	119

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について （令和2年10月1日～令和2年10月30日実施）

意見等を受けた人数
23人

対応区分別の項目数、件数

対 応 区 分	件数
A. 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	7
B. 意見の趣旨等は、計画（案）に盛り込み済みのもの	79
C. 計画には盛り込まないもの	1
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	13
E. その他要望・意見等	19
計	119

パブリックコメント手続での意見

○対応区分 「A. 計画に盛り込むもの」、「B. 計画（案）に盛り込み済みのもの」、「C. 計画に盛り込まないもの」  
「D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの」「E. その他要望・意見等」

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	第1編 計画策定の趣旨等について	団塊の世代・団塊ジュニア世代が（〇〇年～〇〇年生まれ）と、どこかに記載があった方が分かりやすいのではと思います。	ご意見を踏まえて、主な用語の解説に加えることとします。	A
2	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	P22高齢者就業者数の推移へ（単位：人）を入れる。	ご意見を踏まえて、（人）を加えることとします。	A
3	第3編 日常生活圏域について	P24の図及びP25の図の左側上に（人）を入れる。 P27第2章の4行目、「～地域包括支援センターが中心となり」とあるので、下欄へ地域包括支援センターのわかりやすい業務体系図を記載したほうがよい。	ご意見を踏まえて、（人）を加えることとします。また、地域包括支援センターの業務内容については、主な用語の解説に加えることとします。	A
4	第4編 施策の体系について	“生きがいづくり”はいいと思いますが、“生きがい対策”という言葉は違和感を感じました。「生きがい」「生きることの喜び、張り合い」「生きる価値」、対策でしょうか。	「生きがい対策の充実」を「生きがいづくり・社会参画の促進」に見直すこととします。	A
5	第5編 施策の展開について	P10「フレイル予防」について下欄へ説明文を記載する。	ご意見を踏まえて、主な用語の解説に加えることとします。	A

6	第5編 施策の展開について	P50「フレイル状態」、「フレイル対策等」について下欄へ説明文を記載する。	ご意見を踏まえて、主な用語の解説に加えることとします。	A
7	第6編 サービスの見込量及び目標量について	P58「コーホート要因法」の説明文を記載する方がよい。	ご意見を踏まえて、説明文を記載いたします。	A
8	第1編 計画策定の趣旨等について	少子高齢の進行の中、将来を見据えての、早期の地域包括ケアシステムの構築の推進が必要と思われる。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、高齢者を地域全体で支えるための体制整備について盛り込んでおり、これまでも、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおりますが、引き続き、高齢者が住み慣れた地域での生活を続けられるようさらに推進してまいります。	B
9	第1編 計画策定の趣旨等について	市内の高齢化比率が高くなっていることが分かりました。趣旨に賛同します。	賛同のご意見として承ります。	B
10	第1編 計画策定の趣旨等について	第8期市高齢者保健福祉・介護保険事業計画の策定にあたって、新市長のことばをいれるとよい。	計画の策定の際には、市長のことばを入れることとしております。	B
11	第1編 計画策定の趣旨等について	市における高齢化の進行に対する事業計画に必要不可欠であります。保健・福祉・介護の一体的な計画に期待します。	賛同のご意見として承ります。	B
12	第1編 計画策定の趣旨等について	(健康第一) 短期間では出来ない計画であるが、第8期、第9期の6年間で、目標に近づけるでしょう。	賛同のご意見として承ります。	B
13	第1編 計画策定の趣旨等について	高齢化がすすむのもっともだと思えます。	賛同のご意見として承ります。	B
14	第1編 計画策定の趣旨等について	団塊の世代の私たちとしては、縦・横のつながりを考慮し、より良い計画・実施できることを望んでいます。	賛同のご意見として承ります。	B

15	第1編 計画策定の趣旨等について	メンバーの中に学生を入れるのはどうでしょうか。これから世代の人達の意識づけにもなりますし、市の取り組みへの理解にもつながるので。あと、当の本人達、高齢者たちの希望等実態などを知るのも大切だと思うので、別枠で聞く機会をもっては。介護の意向は4Pにありましたが、実際の家族はどうでしょうか。	計画の策定・管理委員会の公募委員の選定にあたっては、年代ごとに選考することとしており、幅広い世代のご意見を賜ることとしております。また、高齢者の実態については、昨年度アンケート調査を実施したところでございます。今後も広く意見を聞き、計画を推進してまいります。	B
16	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	認知症の予防に対する地域での取組が必要と思う。	重点課題「認知症の人やその家族への支援の充実」の中に、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族への支援体制の構築について盛り込んでおります。	B
17	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	国は要支援1・2適用者を「総合事業」への移行として自治体の裁量に運営をまかせていたが、鹿児島市は切り捨てることなくきちんと見ているので安心した。	賛同のご意見として承ります。	B
18	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	高齢者の一人住まいのデータも必要では。よって、個別的に新しい事業も考えられるのでは。	一人暮らし高齢者の状況についても、高齢者等実態調査や国勢調査などを参考に傾向を把握し、各種施策の検討を行っております。	B
19	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	旧吉田町、郡山町、松元町、喜入町、桜島町については、旧鹿児島市区とは生活環境に大きな隔りがあるので、別掲にされたい。	日常生活圏域は、市内を17の圏域に設定しており、旧町区域も含め各圏域の実情に応じた取組を推進することとしています。	B
20	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	自宅で介護を受け、自立して生活できる細かい支援が必要な状況であると思います。地域のつながりが薄くなっていることも問題かと思えます。	重点課題「在宅福祉サービスの充実」の中に、在宅生活を支援するサービスについて、また、重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。	B
21	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	認知症について知りたいことが断トツで「予防法」になっている。昨年制定された認知症大綱では、予防を誤解されないように発症予防ではなく、発症遅延、進行緩徐が明記されている。その理解を進めていくようなキャンペーンや予防事業での説明がないと偏見が助長され、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」の弊害になる恐れがある。双方必要であることを強調すべきである。そして認知症早期の生活障害（服薬・金銭管理、買い物等）についての支援を強化し、認知機能障害があっても本人の望む在宅、地域で過ごせる高齢者を増やしていきたい。	重点課題「認知症の人やその家族への支援の充実」の中に、現状と課題として、認知症への社会の理解、発症遅延、早期対応等について示しており、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、認知症への社会の理解を深める認知症サポーター等の養成や、早期対応を行う認知症初期集中支援に努めてまいります。	B
22	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	高齢になっても自宅で暮らし続けたいとの思いは、皆同じだと思うが、経済的に困窮世帯は「成り行きに任せるしかない」というのが本音ではないだろうか。	重点課題「介護保険対象サービスの提供」の中に、低所得利用者への負担助成を盛り込んでおります。	B

23	第3編 日常生活圏域について	日常生活圏域の考え方に地区民生委員、児童委員協議会及び校区まちづくり協議会の地区割を加える。	日常生活圏域については、地理的条件や交通等の諸条件を踏まえて設定された第五次鹿島市総合計画の地域・地区を参考にするとともに、高齢者人口や面積、地区民生委員・児童委員協議会の地区割等を考慮して設定しております。	B
24	第3編 日常生活圏域について	地域の高齢化の度合いによる地域包括ケアの構築が急がれる。	日常生活圏域は、市内を17の圏域に設定しており、旧町区域も含め各圏域の実情に応じた取組を推進することとしています。	B
25	第3編 日常生活圏域について	地域包括支援センターの場所、その役割を市民に知らせ、センターと住民との交流を図ることによって、センターが充実され、市民にとってもその意義が深まると思います。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化や体制整備、地域の関係機関との連携について盛り込んでおります。また、地域包括支援センターの場所等については、引き続きホームページやチラシ等により周知を図ってまいります。	B
26	第3編 日常生活圏域について	17の生活圏の設定継続は賛成です。	賛同のご意見として承ります。	B
27	第3編 日常生活圏域について	現在の地域を見ますと、広範囲に高齢化も進んでいる状況です。包括支援センターのさらなる充実を期待します。	賛同のご意見として承ります。	B
28	第3編 日常生活圏域について	高齢者が集って健康体操等を行える場、例えば一昔にその方法でしか造れなかった2階建ての集会場の平屋への改築やバリアフリー化も必要だろう。	重点課題「住みよい環境づくりの推進」の中に、高齢者にやさしいまちづくりについて盛り込んでおります。	B
29	第3編 日常生活圏域について	予想外のコロナ禍の中での、出来ることを考えないといけない。	重点課題「災害・感染症対策の推進」の中に、感染症への対応として、備蓄・調達・輸送体制の整備や、感染症予防医療事業などを盛り込んでおります。	B
30	第3編 日常生活圏域について	免許返納後、日常生活への影響は多大です。家族・友達・近所の人々との交わりを大切にしたいものです。	重点課題「生きがいづくりの推進」の中に、敬老バス交付事業などについて、また、重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。	B
31	第3編 日常生活圏域について	圏域ごとの高齢化率や事業所数、サービス事業所数が詳しく分かりやすいです。個人的には、在宅介護、在宅医療を普及するには、夜間帯も対応できる事業が展開されていくことを望みます。	重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、地域密着型サービス基盤の整備について盛り込んでおり、施設整備の補助を行うことで、夜間帯も対応できる地域密着型サービス事業所も含めた整備促進を図っているところです。	B

32	第3編 日常生活圏域について	17の日常生活圏域が見えませんでした。	計画素案に、日常生活圏域図を盛り込んでおります。	B
33	第4編 施策の体系について	重点課題「1 生きがいがづくりの推進」（1）生きがい・仲間づくりの推進に加え、“場の提供”を入れて欲しい。	重点課題「生きがいがづくりの推進」の中に、高齢者の生きがいや健康づくりを図るため、高齢者福祉センターや愛のふれあい会食事業など、場の提供について盛り込んでおります。	B
34	第4編 施策の体系について	重点課題「1 生きがいがづくりの推進」（2）として異世代間交流を柱として入れて欲しい。これにあわせて第5編に追記して欲しい。	重点課題「生きがいがづくりの推進」の中に、今後の方策として、「世代間交流を図るための各種生きがい対策事業の実施」について盛り込んでおります。	B
35	第4編 施策の体系について	第3章 安心して暮らせるよう医療、介護、生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークの形成	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、高齢者が住み慣れた地域での生活を続けられるよう、高齢者を地域全体で支えるための体制整備や在宅医療と介護の連携推進について盛り込んでおります。	B
36	第4編 施策の体系について	第4章 介護予防や生活習慣病予防	P30の施策の体系図において、第4章は「介護予防・地域支援体制の充実」としており生活習慣病の予防については、施策の方向の「（2）健康づくりの推進」の中で、取り組んでまいります。	B
37	第4編 施策の体系について	住み慣れた地域の中で生きがいを感じて暮らせる地域コミュニティの構築が必要と思う。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。町内会やボランティア団体等と連携を図りながら、地域住民が共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
38	第4編 施策の体系について	高齢者の健康・維持・改善への施策はどうなるのですか。	重点課題「介護予防・健康づくりの推進」の中に、介護予防・生活支援サービス事業や健康づくり事業などについて盛り込んでおります。	B
39	第4編 施策の体系について	全体に細かい目標があげられ体系も希望通りです。縦だけでなく横の連携で福祉サービスを受けられることがよいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
40	第4編 施策の体系について	地域包括センターの充実化が必要。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域包括支援センターの機能強化や体制整備について盛り込んでおります。	B

41	第4編 施策の体系について	台風や豪雨など、年々その規模が大きくなっている。安全で安心して避難できる施設が望まれる。	重点課題「災害・感染症対策の推進」の中に、災害への対応について盛り込んでおります。なお、指定緊急避難場所を兼ねた指定避難所については、災害の種別ごとに洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域外に立地していることなど、安全性等の一定の基準を満たす施設又は場所としており、現在、230箇所を指定しているところです。	B
42	第4編 施策の体系について	介護サービスにも限界があるので共助が必要である。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。町内会やボランティア団体等と連携を図りながら、地域住民が共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
43	第4編 施策の体系について	とても大事なことだと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
44	第4編 施策の体系について	高齢者は住み慣れた地域で最後まで、と良く聞きます。そうすると町内会の協力等が必要ではないでしょうか。町内会、近所の方々と生きがいづくりだったり、認知症だったりのサポート等は期待できる気がします。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。町内会やボランティア団体等と連携を図りながら、地域住民が共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
45	第5編 施策の展開について	介護サービス従事者の離職防止やサービス確保のため、引き続き、賃金UPや書類業務の簡素化、印鑑の廃止など推進してほしい。	重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、介護サービス事業所等による申請手続の簡素化や介護人材の処遇改善の推進について盛り込んでおります。また、介護職員の人材確保や処遇改善については、国の動向を注視しながら、適切に対応してまいります。	B
46	第5編 施策の展開について	2（2）高齢者の活動への支援のなかに、民間団体への活動支援を組み入れて欲しい。	重点課題「高齢者の社会参画の促進」の中に、心をつなぐともしびグループや老人クラブへの活動支援も盛り込んでおり、民間団体を含めた支援を行ってまいります。	B
47	第5編 施策の展開について	第2章3（2）交通安全対策、防犯対策を入れたらどうでしょう。	重点課題「住みよい環境づくりの推進」の中に、高齢者にやさしいまちづくりとして、交通安全や防犯対策に関する事業について盛り込んでおります。	B
48	第5編 施策の展開について	第4章1（1）生活機能低下の早期発見をはかるをいれたらどうでしょう。	重点課題「介護予防・健康づくりの推進」の中に、介護予防把握事業を盛り込んでおり、認知症や閉じこもり、生活機能低下など、何らかの支援を要する高齢者を把握することとしております。	B
49	第5編 施策の展開について	第4章2（3）地域ケア会議の頻度をはかるを入れたらどうでしょうか。	重点課題「地域包括ケアの推進」の地域包括支援センターの機能強化の中に、地域ケア会議等の開催を盛り込んでおり、同会議の適切な運営に取り組んでおります。	B

50	第5編 施策の展開について	今いる場所で生活しながら、地域のコミュニティーに参加しやすい町づくり。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。町内会やボランティア団体等と連携を図りながら、地域住民が共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
51	第5編 施策の展開について	災害・感染症対策推進についても、きめ細やかな対応をお願いいたします。	重点課題「災害・感染症対策の推進」の中に、災害時における自力避難が困難な高齢者の安全確保や、介護事業所等における大規模災害や感染症など危機事象への対応について盛り込んでおり、関係機関等とも連携した取組を進めてまいります。	B
52	第5編 施策の展開について	P50 3の次へ（1）高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進を入れる。	計画策定の際には、「（1）高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進」を入れることとしております。	B
53	第5編 施策の展開について	仲間づくり、やりがい、喜びのため、住んでいる地域に貢献できる軽い作業等の提案とその代価を少額でも頂ける事業があれば喜びと地域に貢献している達成感が湧き出るのでは。	重点課題「介護予防・健康づくりの推進」の中に、生活支援を実施する住民グループ等に対し補助を行う訪問型住民主体サービス事業について盛り込んでおります。	B
54	第5編 施策の展開について	施策のベースとなる町内会の加入率が年々低下している。町内会の活性化を図らないと本事業は成功しない。町内会の魅力ある町内会づくりに市民と行政で尽力してほしい。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。町内会やボランティア団体等と連携を図りながら、地域住民が共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
55	第5編 施策の展開について	高齢者の社会参加、就業機会の確保、安心して介護を受けられることや気軽に相談できる体制を望みます。	高齢者の社会参加、就業機会の確保については、重点課題「高齢者の社会参画の推進」の中に、高齢者の社会参画支援や就業促進について盛り込んでおります。また、介護サービスや相談体制については、重点課題「サービス提供体制のための体制づくり」の中に、広報・相談体制の充実について盛り込んでおります。	B
56	第5編 施策の展開について	集いの場、憩える場、すなわち町内会等の集会所等の充実が必要。また、その施設を利用した認知症講座などの実施。	重点課題「生きがいづくりの推進」の中に、高齢者の生きがいや健康づくりを図るため、高齢者福祉センターや愛のふれあい会食事業などの場の提供について、重点課題「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の中に、通いの場等への積極的な関与を盛り込んでおります。また、引き続き身近な集会所等での認知症予防等の健康講座を実施してまいります。	B
57	第5編 施策の展開について	生きがい・仲間づくりするにも健康でないといけないので、運動・食事などにも気を向けてほしい。	重点課題「介護予防・健康づくりの推進」の中に、「運動による健康づくり」「食を通じた健康づくり」について盛り込んでおります。	B
58	第5編 施策の展開について	介護する家族の心のケア、中には頑張りすぎて力つきてしまうこともあるかと思えます。そのような人の集まり交流の場の必要性も考えます。	重点課題「在宅福祉サービス」の中に、介護家族への支援として、介護負担の軽減を図る技術習得のための講習会や、交流会の開催について盛り込んでおります。	B

59	第5編 施策の展開について	高齢者の中には、足が不自由で外出できない人、大勢の中に入りたくない人等の支援についても考えてもらいたい。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。地域において支援を必要とする方については、地域福祉推進団体と連携を図りながら、共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
60	第5編 施策の展開について	住環境の面で考えるのは、夫婦どちらかが要介護になった時、二人で入居できる施設があれば、精神面・体力面のケアを受けて安心して生活できるのでは。今ある施設は高価すぎます。誰もがとは言いませんが、現状は共倒れ状態です。虐待にもつながるのでは。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、高齢者が住み慣れた地域での生活を続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの実現に向け、高齢者を地域全体で支えるための体制整備を盛り込んでおります。	B
61	第6編 サービスの見込量及び目標量について	計画の目標を数値化したほうがわかりやすいと思った。「介護老人福祉施設のユニット化を全体の〇%にする」など。	計画策定の際には、サービスの見込量及び目標量について、記載することとしております。	B
62	第6編 サービスの見込量及び目標量について	市内の高齢者比率が年々高くなっています。そのことをふまえて見込・目標量を設定してはと思われまます。	サービスの見込量及び目標量については、高齢者も含めた人口の推計をふまえてサービス見込量等を記載することとしております。	B
63	第6編 サービスの見込量及び目標量について	各事業の目標量を記載した図や表を記載すべきと思う。	サービスの見込量及び目標量については、令和2年度の実績をふまえて設定することとしており、計画策定の際には、見込量及び計画量を記載することとしております。	B
64	第6編 サービスの見込量及び目標量について	現在の利用状況に自宅介護、さらに予防が増加になると見込まれます。ぜひ、もれない支援、孤独な生活の方も受けられるよう設定を願います。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、高齢者を地域全体で支えあう社会を構築するため、多様な生活支援サービスの確保について盛り込んでおります。	B
65	第6編 サービスの見込量及び目標量について	子供への負担をかけまいと思っている高齢者が増えています。その為の体力づくり・病気知らずに努められたらと思います。	重点課題「介護予防・地域支援体制の充実」の中で、介護予防の充実や健康づくりの推進を図ることとしております。各種事業を実施することで市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組めるよう支援してまいります。	B
66	第6編 サービスの見込量及び目標量について	医療・介護連携で、在宅介護を支える上で、看護小規模多機能型居宅介護というサービスはもっと増えてほしいと個人的には思います。	重点課題「介護保険対象サービスの提供」の中に、可能な限り住み慣れた地域での生活を継続できるよう、必要なサービス量を確保することについて盛り込んでおります。	B
67	計画全般について	サービス提供事業者の意見をより重要に計画に反映してほしい。	鹿兒島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定・管理委員会の委員として、サービス提供事業者の団体からもご意見を賜りながら計画の策定、進行・管理を行っております。	B

68	計画全般について	人生100年時代を迎え、元気高齢者も多いので、彼らの活力も活用しながらの計画展開が必要。	重点課題「高齢者の社会参画の推進」の中に、高齢者の社会参加支援について、また、重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。町内会やボランティア団体等と連携を図りながら、地域住民が共に助け合い、支え合う地域づくりを支援してまいります。	B
69	計画全般について	高齢者が暮らしやすいように考えられていて良い計画だと思った。	賛同のご意見として承ります。	B
70	計画全般について	計画案に沿った進行で良いと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
71	計画全般について	計画の素案は各計画きめ細かく策定されており、市の高齢者福祉の充実が図れて行くと思われます。	賛同のご意見として承ります。	B
72	計画全般について	夫が認知症で現在施設にお世話になっています。診断されて7年、当時は病気に対する知識もなく、徘徊がひどく、介護する自分も心臓病で緊急手術と、途方に暮れてしまいました。自宅介護を希望するも、やむを得ずできなくなりました。なので、認知症の人、その家族への支援、サービスの提供を望みます。	重点課題「認知症の人やその家族への支援の充実」の中に、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、認知症への社会の理解を深めるとともに、認知症の人やその家族への支援体制の構築について盛り込んでおります。	B
73	計画全般について	施設で働く介護士等の処遇改善をお願いしたいと思います。介護報酬の度重なる引き下げが介護職員の低賃金を招き、深刻な人手不足となっていると思うので。	重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、介護人材の処遇改善の推進を盛り込んでおります。また、介護職員の人材確保や処遇改善については、国の動向を注視しながら、適切に対応してまいります。	B
74	計画全般について	2025年、2040年問題について細やかに計画されています。	賛同のご意見として承ります。	B
75	計画全般について	目標に近づけるよう、行政で頑張ってもらいたい。一市民として協力できることは惜しまない。	賛同のご意見として承ります。	B
76	計画全般について	良い	賛同のご意見として承ります。	B

77	計画全般について	より良い計画ができることを願います。	賛同のご意見として承ります。	B
78	計画全般について	計画策定など、拝見させていただきました。一年前とは違う地域社会…病気や入院、そしてお亡くなりになる。致し方ないとはいえ、やはり寂しく悲しいです。この素案を見て、高齢者を大事に捉えて下さっている姿勢を感じました。よろしくお願いします。	賛同のご意見として承ります。	B
79	計画全般について	様々な事業があることを知りました。しかし、「知らない」「分からない」ことで、利用に結びつかないことも多いのではと思います。まずは、窓口につなげること、つながることが一番だと思います。	重点課題「サービス提供のための体制づくり」の中に、広報・相談体制の充実について盛り込んでおります。各種施策を実施する中で、積極的に情報提供をまいります。	B
80	計画全般について	いろいろな面に細かく良く出来ていると思われまます。	賛同のご意見として承ります。	B
81	その他	地域包括支援センターの機能強化は重要。民生委員活動を行う上で、とてもお世話になっています。	賛同のご意見として承ります。	B
82	その他	市が策定する各「計画」には通常入るべき項目ではないのだとは思いますが、各事業を実施、推進するためには行政及び実施主体の組織の整備、強化、人員体制(特に専門職等)の充実が求められます。それについても、具体的方針、施策(人員計画も含め)が示される必要はないのでしょうか。	計画の推進にあたっては、庁内外の関係機関と連携を図るとともに、進行管理にあたっては、学識経験者や各分野から意見を聞きながら行うこととしております。	B
83	その他	至れり尽くせりの無料サービスもありがたいでしょうが、自分たちでもまだ出来ることを思考してもらうことも大切だと思います。	重点課題「高齢者の社会参画の促進」の中に、ボランティア活動の推進について、また、重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。	B
84	その他	働き方改革により、高齢になっても働く人が増えています。その為、地域のボランティア等難しく、後継者となる人がいない。	重点課題「高齢者の社会参画の促進」の中に、ボランティア活動の推進について、また、重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、地域づくりの支援について盛り込んでおります。	B
85	その他	一人暮らし後高齢者が増えてくると思いますが、子供世代とは別の生活者が多く、60代の高齢者は子供世代に迷惑はかけられないと思っている人も多いです。となると、施設への入居となります。足りなくなりますね。	重点課題「地域包括ケアの推進」の中に、高齢者が住み慣れた地域での生活を続けられるよう、高齢者を地域全体で支えるための体制整備を、また、重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、施設サービスや地域密着型サービス基盤の整備について盛り込んでおります。一人暮らし高齢者への支援や社会情勢に応じた施設整備に努めてまいります。	B

86	その他	この地域では、校区社協の活動で「福祉アドバイザー」の制度を作っている。各集落の複数のアドバイザーが地域内の高齢世帯の見守りを行う。しかし、若い世代はほぼ共働きのため留守がちで、見守る側も高齢化が進み、これから先が見通せない。「生活圏域」には相当の差異があると思われるので、キメ細やかな施策をお願いしたい。	日常生活圏域は、市内を17の圏域に設定しており、旧町区域も含め各圏域の実情に応じた取組を推進することとしています。	B
87	第5編 施策の展開について	P37「新型インフルエンザ等対策行動計画」→「新型コロナウイルス・新型インフルエンザ等対策行動計画」へしたほうがよい。	「新型インフルエンザ等対策行動計画」は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、政府行動計画や県行動計画との整合性を図った上で定めている計画名であり、現在のところ、名称変更の予定はありません。	C
88	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	高齢者の介護の意向について、施設利用者の意向についても調査してほしい。	重点課題「サービス提供のための体制づくり」の中の介護サービス相談員の派遣事業において、意向等を確認しており、各種事業を実施する中で対応してまいります。	D
89	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	高齢者の「生きがい」について掘り下げが必要。「生きがい」が健康維持や介護予防の意欲にもつながると思うので。	高齢者実態調査で、高齢者の生きがいについても調査を行い、施策に反映することとしております。ご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。	D
90	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	在宅で介護をしたくても、やむをえない理由で施設への入所を希望する方もいらっしゃいます。在宅介護で抱えている悩みやストレスもあると思います。老老介護の多い実態。「～したい」の意見だけでなく、「～で困っている」の実態が見えてこそ、課題がみえてくるのではないのでしょうか。	重点課題「サービス提供のための体制づくり」の中に、広報・相談体制の充実について盛り込んでおり、引き続き、様々な機会をとらえ、実態の把握に努めてまいります。	D
91	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	高齢者は確実に増えていますが、男性・女性の割合はどうでしょうか。この資料からは見えませんでした。今の現状は女性が多いようですが、また違った面がみえてくるのでは。	高齢者等実態調査においては、男女別集計も行っておりますので、各種施策を実施する中で参考にさせていただきます。	D
92	第5編 施策の展開について	第2章3(1)避難時に備えて消防分遣隊の方に手話通訳の講習を図る。	各避難所には、災害時に、コミュニケーションを取ることが困難な外国人や障がい者などが意思を表示できるよう、意思確認や要望の内容を絵カードにし、それを指すことで意思の確認ができる「コミュニケーション支援ボード」を配備しております。ご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。	D
93	第5編 施策の展開について	第2章3(1)障害者(車イスの方)が安心して避難できるように市全域にある福祉館のバリアフリー化。	福祉館へのスロープ設置やトイレの洋式化などのバリアフリー化については、対応可能な福祉館については既に整備済です。なお、エレベーターや多目的トイレなどの新たな設備については、建物の構造などの問題や敷地が限られていることなどから整備は困難と考えており、今後の参考とさせていただきます。	D
94	第5編 施策の展開について	高齢者を含めた全市民にホームドクターを持つよう指導してもらいたい。	かかりつけ医(ホームドクター)を持つことは、病気の予防にもつながることから、各種取組を実施する際の参考にさせていただきます。	D

95	第5編 施策の展開について	I C T活用は介護保険領域だけでなくスマホ普及率上昇しているため元気高齢者の段階から必要となる。	ご意見については、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。	D
96	第5編 施策の展開について	この地域は、校区の成人学級や社協が中心になって、いろいろな講座を開いているが、超高齢化で会場への交通手段もままならない現状。	重点課題「住みよい環境づくりの推進」の中で、高齢者への身体的負担の少ない交通環境づくりに努めることとしておりますが、ご意見につきましては、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。	D
97	第6編 サービスの見込量及び目標量について	地域の実情にあった地域密着型のサービス。子供たちとの交流が出来る施設等があれば良いと思う。	重点課題「生きがい対策の充実」の中に、高齢者同士のふれあい、世代間交流を図るための各種生きがい対策について盛り込んでおります。ご意見については、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。	D
98	第6編 サービスの見込量及び目標量について	試算に当たっては、高齢者世帯の同居家族の調査をしておく必要がある。子どもがいるのか、県内在住か、県外在住かによって介護保険サービスの需要とニーズが違ってくる。	介護サービスの見込量については、高齢者数の増加見込み、サービス利用の実績等を参考に算出することとしております。ご意見については、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。	D
99	その他	運用に当たって、事業のサービスを受けるには「申請」と言う形を取ることになると思いますが、ここで行政の折角のあたたかさが伝わらなくなりがちであり、高齢者や要介護者は、自らは行動しにくい状況の方が多いと思われるので、行政のあたたかさを伝える「手をさしのべる」工夫を事業計画策定と合わせてご検討いただけたらと思います。	計画の運用にあたっては、地域の様々な関係者と連携し、高齢者が住み慣れた地域で、安心した生活を営むことができるよう、必要な援助、支援を行ってまいります。ご意見については、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。	D
100	その他	介護職員の離職率が高いので介護職員の負担を減らせるような方法（介護ロボット、I C Tの活用、自動体交ベッド、自動排泄処理装置など）を実際に導入できるように支援してほしい。	重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、介護ロボットやI C Tの活用事例の周知、介護サービス事業所等による申請手続の簡素化を盛り込んでおり、業務効率化の促進に努めてまいります。なお、鹿児島県においては、平成29年度から介護ロボット導入に対して、令和2年度から介護ソフトに対して、それぞれ補助を実施しております。ご意見については、今後の参考とさせていただきます、本市においては、引き続きこれらの周知を図ってまいります。	D
101	第1編 計画策定の趣旨等について	高齢化社会間違いがないので、少子化対策と同じくらい高齢化対策についても税制上や出費に優しい対策にしてもらいたい。	ご意見として承ります。	E
102	第1編 計画策定の趣旨等について	戦後復興の一翼を担ったのは団塊の世代である。その世代が後期高齢者になることが、悪者扱いに取られるような表現は慎んでもらいたい。	計画の策定にあたっては、人口の動態や高齢化の将来推移などから、必要なサービス見込量などを推計することとしており、計画策定の前提として団塊の世代についても記載したところですので、ご理解ください。	E
103	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	右肩上がりの数字は紛れもない事実。これを右肩下がりにもっていくのは、難しいが、せめて現状維持での進行にできればと思う。	効果的な取組になるよう、着実に計画を推進してまいります。	E

104	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	認知症高齢者も増えるだろうと思います。健康寿命がきになる。	ご意見として承ります。	E
105	第2編 本市の高齢者を取り巻く現状について	現在でも高齢者75歳以上が多く、今は健康であってもいつどのような体力の変化・思考力低下がおこりうるかわからないと思います。	ご意見として承ります。	E
106	第3編 日常生活圏域について	この地域では、地域内に病院がなく交通も不便なため、隣町の始良市の病院へ通う人が多い。	ご意見として承ります。	E
107	第4編 施策の体系について	体系について、知らない事が一杯でした。施策の充実を望みます。	ご意見として承ります。	E
108	第4編 施策の体系について	(概要版)P6第1章、第2章の標記は、(1)、(2)にすべきと思う。	第5編と連動することから、このように標記しております。	E
109	第5編 施策の展開について	やさしいまちづくりについて、市営バスの廃止にともなう民間への委託について、仮に赤字で廃止ということになった場合、市として継続への要請並びに財政補填を検討して頂きたいと思います。	ご意見として承ります。交通局が民間事業者に移譲した路線については、運行経路や便数を原則3年間維持することとなっており、当該期間後も可能な限り、路線や便数を維持されるものと考えております。	E
110	第5編 施策の展開について	第3章認知症対策・権利擁護の推進の中の、1(2)【具体的取組】地域における支援体制の構築の中の「はいかい老人SOSネットワークシステム」のはいかい老人は認知症の方に対する権利侵害だと思えます。	ご意見として承ります。なお、「はいかい老人SOSネットワークシステム」は鹿児島県警察本部が実施している事業になりますので、ご意見をお伝えいたします。	E
111	第6編 サービスの見込量及び目標量について	コロナ禍が早く終息することを願います。	ご意見として承ります。	E
112	第6編 サービスの見込量及び目標量について	子ども達が地域外へ出ていき、高齢夫婦や単身の世帯がほとんどである。子ども達が日々通って世話すること自体が困難。体調に異変が起こった時に安易に施設に相談するケースがほとんど。	少子高齢化の進行により、人口減少と高齢人口の益々の増が見込まれる中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、現状や課題を把握しながら、計画を実行してまいります。	E

113	第6編 サービスの見込量及び目標量について	専門家におまかせします。	ご意見として承ります。	E
114	計画全般について	文書のとおり全て実行してください。	ご意見として承ります。	E
115	計画全般について	20年後を見据えたランドデザインです。若い世代の負担増にならないように配慮を願いたい。国の問題でしょうが同じ高齢者でも国保の保険料などに1割2割3割とあり、その算定基礎に不平等感がある。このような現実を改正することが若者の負担軽減につながります。	少子高齢化の進行に伴い、介護サービスの利用者数の増が見込まれており、計画の推進にあたっては介護給付の適正化を図るとともに、生きがいづくりや介護予防などの取組を進め、持続可能な制度となるよう運営してまいります。	E
116	その他	現在、厚労省は自治体が運営する「総合事業」の対象を要介護5まで拡大し、要介護者の介護保険給付外しを可能にする旨情報を得ています。この案には賛成できません。厚労省に対して市としてもその旨意見書を上げてほしいと思います。	ご意見として承ります。今後とも国の動向を見据え、必要な要請等を関係機関に対し行ってまいります。	E
117	その他	今後の介護士人材不足に対応するため、鹿児島市の支援制度として「初任者研修（旧ホームヘルパー2級）」受講費を無料として人材確保を図る制度の必要性を感じている。	ご意見として承ります。重点課題「介護サービスの質的向上」の中に、職場環境改善に向けた研修等の実施や、介護職場の魅力の発信などを盛り込んでおり、介護人材の確保に努めてまいります。なお、鹿児島県においては、介護職員初任者研修を含む介護員養成研修の受講料への補助を行っております。	E
118	その他	本音は今の所に住み続けたいが、先のことはよくわからない。	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムを段階的に構築し、健やかに暮らせる安全で安心なまちづくりを推進してまいります。	E
119	その他	私のおばは（他県ですが）、1人暮らしで、自分の生きがいは庭の手入れだと言って、毎日庭の手入れをしていました。生きがいは大切な視点だと思います。また、身近な方が孤独死で亡くなりました。将来は看取り難民が47万人に達する見込みとの新聞記事を読みました。「いつまでも元気に」を視点に考えることの多い介護ですが、人生の最後までをどう生きるか、最後をどう迎えたいかを一緒に考えていくことも今後、必要なのではないかと思います。	少子高齢化の進行により、人口減少と高齢人口の益々の増が見込まれる中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、現状や課題を把握しながら、計画を実行してまいります。	E